



工場の正式名は、Cartiera F. Amatruda (カルチャーラ・エフ・アマトルーダ)。工場内部の見学は不可、小売も行っていない。紙についてより詳しく知りたい場合は、www.amatruda.it ☎ 089.871315

工場が並び、王族用の高級紙から、バスタをくるむ日用品まで、様々な紙が作られたそう。しかし20世紀機械化に失敗した工場が次々倒産。一時は紙の伝統が消えそうになった。そんな中、ただ一人紙作りを諦めなかったのが、ルイージだったのだ。「父は、『伝統を守れば長く愛される紙ができる』と信じていた。だから昔ながらの作り方を、自分でいちから検証しなおしたの」。

アマトルーダの証とは？

実際に見せるわね、と案内されて工場に入ると、一人の職人が黙々と作業をしていた。水槽から簾で繊維を掬い上げ、台に置き、フェルトをかぶせる。これで1枚。「この方法も父が蘇らせたのよ」。さらさらした手触りは、フェルトによって生み出されていたのだ。紙のへりがすべて毛羽立っているのも、鉄を一切使わない古来の製法を守っているから。「このふちの風合いが、アマトルーダの紙の証なのよ」。

ルイージの試行錯誤は20年も続いたが、そのおかげで今までにない最高の紙が完成した。「最初は地元の芸術家の目に留まったの。画家は絵を描き、小説家は特別な作品の装丁に使った。そうしてだんだん評判が広がり、今ではヨーロッパ中に知られるようになったわ。一枚の紙に、誇りと情熱がずしりとこめられていた」。

アマルフィ産は最上級、手漉きの紙を求めて。

イタリアで最も上質な紙といえば、アマルフィの紙。
やさしい風合いの手漉き紙を訪ねて、渓谷の工房を目指す。

Photos : TAKESHI DOI, Coordinate : FRANCESCA PACCHIANO



01



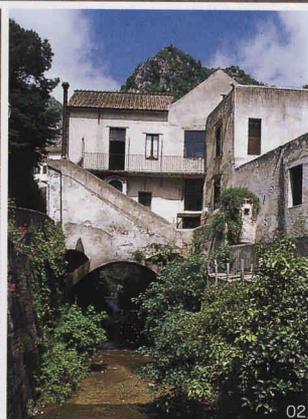
05



04



03



02

01・倉庫の天井には針金が一面に渡してある。昔は紙を1枚ずつ吊るして乾かしていた。今は製紙に使うフェルトが風揺れる。02・川をまたぐように建つ工房。1階は15世紀、上は19世紀に建てられた。03・妹のアントニエッタ・アマトルーダさんと姉のテレザさんが現在工房を取り仕切る。04・針金を張った簾で繊維をそとすくいあげる。職人は全部で10人。05・検品はすべて手作業。細かなごみをひとつずつ、ナイフで削って取り除く。屋根裏部屋に紙のこすれる音だけが響く。

幾度かイタリアを訪れたけれど、ローマでもフィレンツェでもナポリでも、文房具屋では必ずこの町の名を聞いた。「このノートはアマルフィの紙だから凄くいいよ」とか、「うちでいちばんの紙はこれ、アマルフィさ」とか。老舗の店主が鼻を膨らませて自慢するのは、決まってアマルフィのものだった。

ざらりとした手触りの厚手の紙。毛羽立ったふちが素朴な感じ。シンプルだけれど温かみがあって品がいい。みんなから尊敬されているこの紙のことを、もっと知りたい。

町の中央通りを上へ。ひたすら登って20分、せせらぎが聞こえてきた。そこに、手漉き紙工房「アマトルーダ」はあった。

驚いたことに、今アマルフィで上質な紙を作っているのは、この工房ただ1軒だけ。「私の父イージが、アマルフィの紙の伝統を蘇らせたのです」。工房のオーナー、アントニエッタ・アマトルーダさんが、紙の歩んだ歴史を教えてくださいました。

伝統を守りぬく人。

この町に製紙法が伝わったのは13世紀、アマルフィ王国が地中海貿易で栄えていた頃のこと。川の流れる地形が紙作りに合っていたので、瞬く間に一大産地となった。谷間には



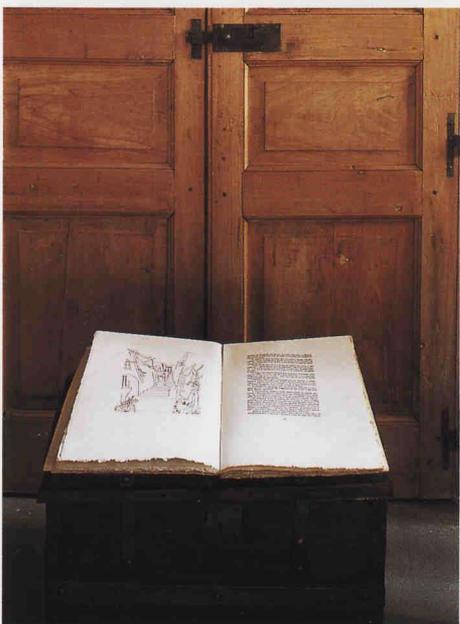
エンジェルの型押しミニカードは、特別な日のディナーで、ネームカードとして使うもの。(6×9cm) 6枚セット€3



2003年ロシアで行われた、ナポリ音楽家による演奏会のプログラム。透かし入りの手漉き紙に絹装丁を施した豪華なもの。



馬柄のカードと封筒セット (8.5×13.5cm) €1.60。木軸のペン €5。手作りの麻製テーブルセンター(27×34cm)€75すべて



ナポリで作られた330部限定の豪華本「SOLARIA」。カプリ島を描いた挿絵が、セビアのインクで刷られている。



白い壁にべたんと貼られた、印刷屋さんの看板。カードや便箋に、活版印刷で好きな文字を入れてくれるのはこちら。



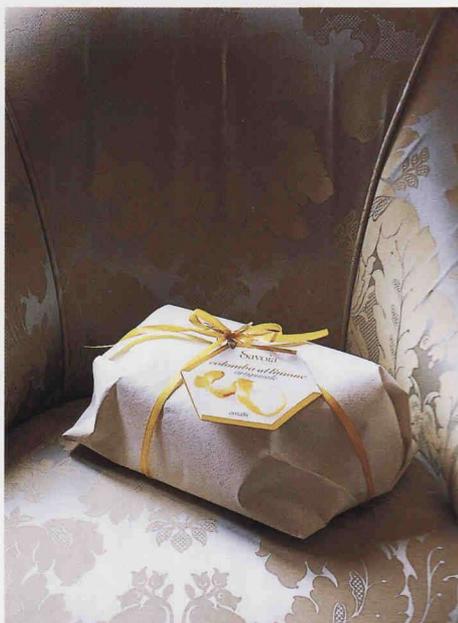
ハンブルクの有名文具メーカーBethge製のグリーティングカード。ニューヨークのカードのコンテストで優勝したもの。



アマトルーダの製品は、町の文具屋や土産店で手に入る。製造過程で鉄を使わないので、ふちが毛羽立っているのが特徴。



二つ折りカードに型押し加工(封筒付) 50枚から注文可、50枚€190。カードに文字印刷(封筒付) 100枚から、100枚€100



復活祭とクリスマス、お祝いの日のお菓子はラッピングも贅沢に、アマトルーダの紙で包む。P038 Bar Pasticceria Savoia